

教育研究業績書

令和5年5月14日

氏名 梶木 克則 

教育上の能力に関する事項		
事項	年 月	概要
1 教育方法の実践例		
Web 検索やワープロによる文書作成を伴うコンピュータ関連授業の進め方 (該当科目：キャリアデベロップメントセミナーH・I)	平成17年4月から19年3月まで	従来は一般教室で講義形式の授業を行ってきたが、パソコン演習室を利用し教示用モニタに写真や動画による資料を表示させることができる。さらにプリントをファイルで配布し、各自ワープロを使って解答を完成させ、保存・印刷して提出することで、Web 検索なども利用した文書作成の練習にもなる。
表計算・データベースソフトを駆使した資格取得対策授業の進め方（該当科目：初級システム講座Ⅱ・Ⅲ）	平成20年4月から23年3月まで	資格取得の受験科目に含まれる内容について、パソコンの表計算やデータベースソフトを使いながら過去問題に取り組むことで、より実践的に理解し応用できるようにした。
パソコン教室での出席管理 (該当科目：情報処理ⅠA・ⅠB、情報処理演習Ⅱ、キャリアデベロップメントセミナーH・I)	平成17年10月から20年3月まで	情報処理演習などパソコン教室を使う演習科目において、学生自身がパソコンの Web 画面を通じて出席登録を行い、その際これまでの出席状況を確認できるようにした。過去の出席一覧と時刻が表示されるため、遅刻防止につながる。
一般教室での出席管理 (該当科目：計算機概論、20年度からは、計算機概論、初級システム講座Ⅱ・Ⅲ、情報処理ⅠA・ⅠB、情報処理演習Ⅱ)	平成19年4月から平成29年まで	一般教室においても携帯電話の Web 機能を活用して学生自身が出席登録を行えるようにした。登録した時刻が記録されることと、出席管理の省力化につながっている。
e ポートフォリオの運用と活用 (該当科目：キャリアスタートアップ)	平成23年4月から令和2年まで	教養演習Ⅰ（後にキャリアスタートアップ）のワークブックの記入内容の一部をeポートフォリオにも入力・蓄積し、教員から評価やコメントのフィードバックを返し、学生と教員とが相互につながるシステムを運用・支援している。
e ラーニングによる小テスト (該当科目：統計学入門、情報処理応用演習A)	平成24年4月から現在に至る	eポートフォリオシステムに内蔵されているeラーニングシステムを使い、事前事後学修のための小テストを作り、小テストの設問・選択肢の作り方について改良・運用を行っている。
2 作成した教科書・教材		
甲子園大学情報処理演習テキスト平成16年度版 から19年度版 まで毎年作成	平成16年4月から平成19年4月 まで毎年発行	演習テキストは、初年次の情報処理演習用に担当教員で執筆したもので、パソコンの基本操作からタイプライティング練習法、メールとインターネット検索の仕方、ワープロと表計算の基礎的な部分までをカバーしている。

様式第4号（教員個人に関する書類）

キャンパスキャリアファイル	平成24年4月から令和2年まで毎年発行	キャリアスタートアップというキャリア教育科目のワークブックとして、担当教員で毎年更新しながら改訂していた。
学生生活入門Ⅰ・Ⅱテキスト	令和3年4月から現在に至る	キャリアスタートアップというキャリア教育科目に代わり学生生活入門Ⅰ・Ⅱという初年次教育科目がスタートし、2人の教員で編集と毎年更新しながら改訂している。
3 教育上の能力に関する大学等の評価		
日本語文書処理技能検定試験3級およびビジネスコンピューティング検定試験3級の学内実施を担当（試験監督と採点）	平成13年度から平成17年度まで	宝塚商工会議所の許諾のもと学内でワープロと表計算の実技を伴う2つの検定試験を前期と後期それぞれ1回ずつ3人の監督者で実施・採点までを行った。試験前の2週間に、対策講座を実施。
日商PC検定試験（文書作成）3級および日商PC検定試験（データ活用）3級の学内実施を担当（試験監督）	平成18年度から現在に至る	平成17年度までの検定試験に代わるもので、オンライン試験になり採点の作業が不要になった。回数はそれぞれ年2回以上に。数年前から授業時間中に検定試験を実施。
4 実務の経験を有する者についての特記事項（社会教育活動）		
甲子園大学 公開市民講座 パソコン入門講座	平成25年9月9日～12日（4日間）	ワードの基本操作から、オリジナルの名刺・ハガキやちらし作り、デジカメで撮った写真の編集など、パソコンで楽しむ、初心者向けの講座 （梶木克則、西川真理子、前馬優策）
甲子園大学春季市民公開講座 ワード入門	平成26年3月18日（1日間）	初心者向けにワードの基本操作を確かめながら習得してもらう。文書と画像のレイアウト、表作成、図形の基本までと、簡単な定型文書作りまでを行う講座（梶木克則）
甲子園大学夏季市民公開講座 ワード入門	平成26年8月28日（1日間） 平成27年3月	春の公開講座とほぼ同じく、初心者向けにワードの基本操作を確かめながら習得してもらう。文書と画像のレイアウト、表作成、図形の基本までと、簡単な定型文書作りまでを行う講座（梶木克則）
甲子園大学春季市民公開講座 ワード入門	17日（1日間）	前年度の夏の講座とほぼ同じく、初心者向けにワードの基本操作を確かめながら習得してもらう。文書と画像のレイアウト、表作成、図形の基本までと、簡単な定型文書作りまでを行う講座（梶木克則）
甲子園大学春季市民公開講座 パソコン体験 -簡単！！ ア	平成28年3月10日（1日間）	インターネットのクラウドサービスを利用してWeb上にアンケートを作り、アンケートのアドレスを送っ

様式第4号（教員個人に関する書類）

アンケート調査とグラフ化・		てアンケートに答えてもらい、得られた回答結果を集計してグラフ化するまでのパソコン体験講座（梶木克則）
甲子園大学春季市民公開講座 パソコン基礎講座（実習）－ ワードを使って写真アルバム作り－	平成29年2月 24日（1日間）	初心者向けにパソコンの実習を伴う講座で、ワードを使って写真と文字をレイアウトする講座。ワードアートによるタイトル文字、自由な位置に写真を配置する手順、テキストボックスによるキャプションなどの実習。
甲子園大学春季市民公開講座 パソコン実習「ワードでチラシ作り」	平成30年3月 5日（1日間）	初心者向けにパソコンの実習を伴う講座で、ワードを使ってチラシを作る講座。ワードアートによるタイトル文字、イラストの挿入、表の作成、地図の貼付けなどの実習。
甲子園大学2018年度公開講座 Wordを使った写真アルバム作り	平成31年3月 8日（1日間）	H29年2月の公開講座の写真アルバム作りの内容にPDFファイルに変換する操作を追加して実施した。ワードのバージョンが、2010から2016に変わり、多少画面の様子が以前と違っているところがある。
甲子園大学 出張講義 情報モラルとセキュリティ	令和2年2月 1日	パソコンやインターネットを使う上でのマナーや気を付けなければならないことなど、基本的な部分を説明し、クイズ形式の選択問題、穴埋め問題に答えてもらいながら学習した。（対象団体：宝塚パソコン研究会）
甲子園大学2019年度公開講座 パソコン・インターネット活用のためのミニワークショップ	令和2年2月 20日（1日間）	パソコン・インターネットに関して、日ごろから利用されている各々の事例を紹介してもらいながら共有することと、日ごろ困っていることなど、ワークショップ形式で活用や対処方法を話し合ってもらった。
5 その他		
職務上の実績に関する事項		
事項	年 月	概要
1 資格、免許 第2種情報処理技術者（第21908263号） 第1種情報処理技術者（第11905739号）	昭和62年6月  昭和63年1月	
2 学校現場等での実務経験		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

様式第4号（教員個人に関する書類）

担当授業科目に関する研究業績等						
担当授業科目	著書、学術論文等の名称	単著 共著	発行 年月	出版社又は 発行雑誌等 の名称	執筆ページ数 (総ページ数)	概 要
情報処理演習  コンピュータ演習  情報処理応用演習A・B	(著書) 1. マイコンセンサシステム入門	共	昭 和 61 年9月	海 文 堂 出 版 株 式会社	24頁 (182 頁)	センサーからの出力信号をマイクロコンピュータに入力するためのインターフェイス技術に関して具体的に分かりやすく解説した。各種センサーの解説から、それらの出力信号を増幅、フィルタリング、伝送する方法、その後マイクロコンピュータに入力するためのAD変換回路を含むインターフェース技術、それらをマイクロコンピュータに取り込むためのプログラムまでを解説している。 (182頁) 担当部分：12章, 14章 (pp. 113-117, pp. 135-153) (志水英二, 辻野啓一, 梶木克則)
	2. 初歩から学ぶコンピュータ	共	平 成 14 年3月	パ ワ ー 社	96頁 (214 頁)	大学生向けにパソコンの基本操作を解説した入門書。Windowsの基本操作から、メール、Web検索、ワープロ、表計算、プレゼンテーション、ホームページ作成まで広くカバーしている。(214頁) 担当部分：第3章 (pp. 31-68), 第4章 (pp. 69-126) (上向井照彦, 岡安祥夫, 梶木克則, 那須靖弘, 米澤忠幸, 榎井猛)
	(学術論文) 1. ミニアンケートを題材として取り入れた情報処理演習	単	平 成 26 年3月	甲 子 園 大 学 紀 要 No. 41, p p. 81-86	6頁	平成25年度前期の情報処理演習において、身近な題材として各自でアンケートの作成、結果の集計分析、レポート集約、発表までを関連付けて学べる演習の実践内容に関するものである。自分で考えた二択のアンケートであり、得られた生のデータを使うことから、身近な題材としてとらえ、興味を持って取り組んでもらえたと考えた。(6頁)
	2. グループによるアンケート作りを題材としたアクティブラーニングの試み	単	平 成 27 年3月	甲 子 園 大 学 紀 要 No. 42, p p. 1-6	6頁	平成25年度後期の情報処理演習において、前期の個人によるアンケートの作成を踏まえて、後期はグループによる話し合いでアンケートの設問・選択肢などを決め、結果の集計分析、レポート作りを経て、グループによるパワーポイント作りと発表までを行った。グループでの話し合いにはSNSのチャットを活用して行った。(6頁)
	3. 新入生に対する携帯電話と情報スキル	単	平 成 29 年3月	甲 子 園 大 学 紀 要	6頁	2012年度から2016年度まで、高校での情報教育特にパソコンスキルに関連する部分についてのアンケート調

様式第4号（教員個人に関する書類）

	に関するアンケート結果について			No. 44, p p. 73-78		査の結果について述べている。旧型携帯電話からスマートフォンに切り替わっていった時期でもある。高校でどれだけパソコンについてのスキルが身についてきているか、変化が分かる。(6頁)
	4. オフィスオンラインの共同編集機能による全員参加型授業の試み	単	平成 30 年3月	甲子園 大学紀 要 No. 45, p p. 7-12	6頁	オフィスオンライン(Excel Online, Powerpoint Online など)の共同編集機能を情報処理演習やワークショップなどいろいろな場面で活用し、ICTによる全員参加型の授業の試みに関する実践例について述べている。(6頁)
	(学会発表) 1. グループによるアンケート作りと発表を取り入れた情報処理演習	共	平成 26 年9月	教育シ ステム 情報学 会第39 回全国 大会, G3-4		操作スキル習得中心であった情報処理演習を、個人でアンケート作りから集計処理、レポート作りやプレゼン発表までを行う演習内容に変える試みを行った。その結果を踏まえて、今度はグループによるアンケート作り、発表準備と発表を行う演習に発展させた。そうした取り組み結果に関する発表である。担当部分：立案と実施のほとんどを担当（梶木克則、榊井猛）
	2. グループによるアンケート作りと発表を取り入れた情報処理演習(2)	単	平成 27 年9月	教育シ ステム 情報学 会第40 回全国 大会, A5-3		情報処理演習の後期では、グループによるアンケート作り、発表準備と発表に取り組んでいる。25年度は話し合いにSNSを使い、個人の発言が記録されるようにした。2年目の26年度後期には、グーグルのスプレッドシートの共同編集を活用してオンラインの話し合いを行った。SNSよりも意見の集約が効率よく行えた。そうした取り組みに関する発表である。
統計学入門	(学術論文) 1. eラーニングを活用した小テストによる予習としての本読みの促進	単	平成 28 年3月	甲子園 大学紀 要 No. 43, p p. 27-33	7頁	平成26年度の統計学入門において、授業時間中はできるだけパソコンによる演習に時間を費やしたいと考え、予習としての本読みを促進するためにeラーニングによる小テストを実施した。小テストを実施するにあたっての試行錯誤と予習に関するアンケート結果について述べている。(7頁)
	(学会発表) 1. 事前学修としての本読みを徹底するための小テストの試み	単	平成 27 年9月	平成27 年度教 育改革 ICT戦 略大会, A-7		統計学入門という授業の予習としての本読みを徹底してもらい、スムーズに説明や演習に入っていけるように、事前学修に時間を費やしたことを確かめる手立てとして、授業の始めにeラーニングによる小テストを

様式第 4 号（教員個人に関する書類）

	2. 事前事後学修に向けた小テストの試み	単	平成 28 年 9 月	平成 28 年度 教育 改 革 I C T 戦 略大会, A-11		行うことにした。小テストの実施にあたり試行錯誤して改良した経緯に関する発表である。
	3. 事後学修を重視した前回演習内容想起のための小テストの試み	単	平成 29 年 9 月	平成 29 年度 教育 改 革 I C T 戦 略大会, A-5		統計学入門の授業において、予習としての本読みを促進すべく、事前学修のための小テストを e ラーニングを使って実施してきた。テキストがより専門的な内容のものに変わり、前回の演習内容を想起させる小テスト（事後学修重視）に変えた。これまでの文章の穴埋めではない、図もまじえた形式の小テストの実践結果に関する発表である。
	4. 在宅学修に向けた Teams を使ったオンライン授業	単	令和 2 年 9 月	教 育 シ ス テ ム 情 報 学 会 第 45 回 全 国 大 会 , C5-3		コロナ禍の甲子園大学で始まった Teams によるオンライン授業の開始前の体制整備から実施までの経緯を交えての実践内容についての発表である。
学生生活入門 I	(学術論文) 1. OneNote Online による e ポートフォリオのクラウド化	単	平成 31 年 3 月	甲子園大学紀要 No. 46, p p. 1-7	7 頁	平成 23 年から本格運用を開始した e ポートフォリオは、e ラーニングシステムの Moodle の一部の機能を使って、学生と教員とがそれぞれ成果と評価を書き込み、相互に確認できる環境を提供してきた。学内のサーバーを整理することになり、Moodle の代わりに OneNote Online を使い、e ポートフォリオのクラウド化を実現した。(7 頁)
	2. OneNote クラスノートブックを利用した教育支援の試み	単	令和 2 年 3 月	甲子園大学紀要 No. 47, p p. 63-68	6 頁	OneNote Online にクラスノートブックというアドインを追加することで、学生向けの電子ノートを教員が管理できるようになる。そうした管理機能を生かした教育支援の実践報告について述べている。(6 頁)
	(学会発表) 1. 初年次キャリア教育科目における e ポ	共	平成 26 年 9 月	平成 26 年度 教育 改 革		教養演習 I に e ポートフォリオを組み合わせて e ポートフォリオへの入力とそれを通じての評価やコメント

様式第4号（教員個人に関する書類）

	ートフォリオの利用			ICT戦略大会, A-9		のフィードバックを返している。学生からは、評価を見ての感想を、ePFを通じてフィードバックしてもらっている。ePFを通じたそうしたやり取りの、3年間にわたる運用結果についてまとめている。担当部分：運用を担当（梶木克則，西川真理子，増田将伸，岡邑衛）
	2. OneNote Class Notebook を利用した eポートフォリオの試み	単	令和元年9月	教育システム情報学会第44回全国大会, F3-3		従来の Moodle の機能を利用した eポートフォリオシステムにおける操作が煩雑で使いづらい点などを、OneNote のクラスノートブックを利用することで大幅に改善された点についての発表である。
	3. OneNote Class Notebook による eポートフォリオのクラウド化	単	令和元年9月	2019年度私情協教育イノベーション大会, A-9		これまで学内にサーバーを置き、Moodle の機能を利用した eポートフォリオシステムを利用してきたが、維持できなくなり、クラウドで利用できる OneNote Class Notebook に移行することになった。その経緯とその後に関する発表である。
	4. 在宅学修に向けた Teams を使ったオンライン授業	単	令和2年9月	教育システム情報学会第45回全国大会, C5-3		コロナ禍の甲子園大学で始まった Teams によるオンライン授業の開始前の体制整備から実施までの経緯を交えての実践内容についての発表である。
数学の基礎	(学術論文) 1. オンライン授業における Microsoft Teams の活用事例	単	令和4年3月	甲子園大学紀要 No. 49, PP. 41-45	5 頁	コロナ禍2年目のオンライン授業における Teams の活用事例について、課題提示や課題提出の基本機能、オンラインの画面を共有しながら複数同時に描き込めるクラスノートブックの実践例などを紹介している。(5 頁)
	2. 対面授業における Microsoft Teams の活用について ―オンライン授業経験後の ICT 活用計画―	単	令和5年3月	甲子園大学紀要 No. 50, P. 77-82	6 頁	コロナ禍3年目の令和4年度は対面授業でいかに Teams を活用できるかについて、これまでのオンライン授業の経験を活かして ICT 活用として実践した結果をまとめた。(6 頁)
	(学会発表) 1. 在宅学修に向けた Teams を使ったオンラ	単	令和2年9月	教育システム情報学		コロナ禍の甲子園大学で始まった Teams によるオンライン授業の開始前の体制整備から実施までの経緯を

様式第 4 号（教員個人に関する書類）

	イン授業			会 第 45 回 全 国 大 会 , C5-3, オ ン ラ イ ン 開 催		交えての実践内容についての発表である。
	2. Teams を用 いたオンライン 授業 2 年 目 の実践報告	単	令和 3 年 9 月 3 日	教 育 シ ス テ ム 情 報 学 会 第 46 回 全 国 大 会 、 E5-4		コロナ禍 2 年目のオンライン授業に おいての Teams の活用方法につい て、各担当授業科目における実践内 容について報告した。